



Tokyo Tech

リベラルアーツ研究教育院

Institute for Liberal Arts

国立大学法人東京工業大学
リベラルアーツ研究教育院
〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1
TEL : 03-5734-2107
<http://educ.titech.ac.jp/ila/>
2024年4月1日発行



「大きな志を育てる」教養教育

リベラルアーツ研究教育院では、自らの“志”を高く掲げ、それを語り合い、共に学んでいきます。自分自身の人生を、自由に設計し、力強く歩んでいくための“知”を身につけていきます。



リベラルアーツ、それは…

リベラルアーツ、それは「人間を自由にする技」
 刹那の感情に囚われた行動や、嫌悪と蔑視の入り混じった偏見、
 一面的なものの見方から、人の心を解き放つ術^{すべて} ——
 我欲・妄執という狭い心の檻からも
 効率と結果のみを求める情報管理社会の縄目からも抜け出して
 自分自身で考える勇気と柔らかな心を育もう

人は何のために生きるのか？
 世界が幸せになるために、どうしたらよいのか？

敵/味方、正解/誤答、役に立つ/立たないというように
 すべてを1か0かで切り分けるデジタル的思考では視えてこない
 境界領域に踏みとどまって、人や書物と対話を交わし、
 粘り強く考え抜こう
 少しでも高い認識の地平を目指し
 螺旋をなす知の階梯を一步一步昇ってゆこう

リベラルアーツ研究教育院長 山崎太郎



- 赤羽 早苗 (幼児教育政策、ソーシャルエモーショナルラーニング)
- 安德 万貴子 (ドイツ近現代文学)
- 安納 真理子 (音楽学、能楽・能管)
- 池上 彰 (現代史)
- 石川 国広 (体験教育論、認知行動療法)
- 石原 由貴 (英語学、言語学)
- 磯崎 憲一郎 (文学)
- 伊藤 亜紗 (美学、現代美術史)
- 猪原 健弘 (意思決定、社会モデリング、合意形成、紛争解決)
- 岩男 征樹 (文化心理学)
- 江原 慶 (マルクス経済学)
- 榎原 美香 (日本語教育、言語学、日本語学・統語論)
- 岡田 佐織 (高等教育、教育行政学)
- 金子 宏通 (法学、民事訴訟法)
- 川名 晋史 (国際政治学、安全保障論)
- 河西 慎馬 (技術史)
- 河村 彩 (ロシア文化、近現代美術、表象文化論)
- 木内 久美子 (イギリス・アイルランド演劇)
- 北川 依子 (現代イギリス小説)
- 北村 匡平 (映画学、文化社会学、メディア論)
- 木山 ロリダ (比較文学、心理学)
- 栗山 直子 (認知心理学、教育心理学)
- 小泉 勇人 (シェイクスピア劇、英語・英作文教育)
- 小谷 泰則 (生理心理学、脳科学)
- 駒田 陽子 (睡眠学、時間生物学、健康科学)
- 小松 翠 (異文化間教育心理学)
- 佐久間 邦弘 (運動生理学、運動心理学)
- 佐々木 藍子 (日本語教育学、第二言語習得、コーパス言語学)
- 藤原 竜郎 (現代アイルランド文学)
- 佐藤 礼子 (日本語教育、第二言語習得)
- 治部 れんげ (ジェンダー、経営、政策、メディア)

- 調 麻志 (科学技術社会論)
- 鈴木 健雄 (歴史学、教育学)
- 鈴木 悠太 (教育学、学校改革研究)
- 高尾 隆 (即興演劇、吹奏楽)
- 高橋 将記 (栄養・運動生理学、時間栄養学、スポーツ栄養学)
- 多久和 理実 (科学史、科学コミュニケーション)
- 谷岡 健彦 (現代イギリス演劇)
- 田村 斉敏 (英文学・近現代詩)
- ヒュー・デフエランティ (音楽学、日本音楽史)
- 中島 岳志 (政治学)
- 永原 健太郎 (教育工学、数学科教育法)
- 永考 光憲 (心理生理学)
- 畑中 健二 (日本思想史)
- 原田 大介 (イギリス小説)



- 広本 優佳 (18～19世紀イギリス小説、ジェイン・オースティン、歴史執筆)
- ヤクブ・ベクタス (技術史)
- 眞崎 俊造 (倫理学、応用倫理学)
- 松田 稔樹 (教育工学、教師教育)
- 丸山 剛生 (ハイオメカニクス)
- 三ツ嶋 広一郎 (フランス文学)
- 室田 真男 (教育工学)
- 柳瀬 博一 (メディア論)

- 山岸 侯彦 (認知科学)
- 山崎 太郎 (独文学、ドイツオペラ)
- 山根 亮一 (アメリカ文学・文化論)
- 山本 貴光 (学術史、ゲーム学)
- 山元 啓史 (言語学)
- 弓山 達也 (宗教学)
- 楊 冠穹 (中国文学)
- 渡辺 曉 (ラテンアメリカ地域研究、スペイン語教育) (50音順)

QRコード
 教員インタビュー



教養教育の科目 多様な開講科目を主体的に選択し、教養を身につけます

Humanities and Social Science Courses

文系教養科目
人文学（哲学、文学、文化人類学、芸術学等）・社会科学（法学、政治学、社会学、心理学等）及び、文理融合科目（科学技術論、統計学、意思決定論等）を、斬新な手法で学びます。「東工大の伝説の文系授業」に出会えます。

English Language Courses

英語科目
英語の必修には、Reading等の四技能を伸ばす科目に加え、TOEFL等を利用する科目があります。Academic Presentationや口頭表現演習（英会話）等多様な選択科目も用意されています。

Second foreign language Courses

第二外国語科目
ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、イタリア語、韓国語から選択して基礎を学びます。会話や講読のクラス、さらには古典ギリシア語、ラテン語の授業等、メニューは多彩です。

Wellness Courses

ウェルネス科目
生涯にわたり健康な生活を送るための基本的リテラシーを、生理・心理学、バイオメカニクスを基礎とした講義や、スポーツを中心とした活動・演習を通して身に付けます。

Japanese Language and Culture Courses

日本語・日本文化科目
週5日の集中、週1～2日の初中級の日本語コースですすべてのスキルを総合的に学びます。アニメ、映画等テーマに沿って学ぶテーマ別日本語では日本文化も学べます。

Teacher Education Courses

教職科目
中学校の数学と理科、高等学校の数学、理科、情報、工業の教員免許状が取得可能です。授業数が増える等容易な道ではありませんが、人を育てる職業を目指しませんか。



Liberal Arts Education

Liberal Arts Final Report
Tokyo Tech Visionary Project
Leadership Workshop
Independent Studies Courses

教養教育を貫く「教養コア学修科目」

年次に応じた科目で構成され、それらを積み重ねて学んでいきます

東工大立志プロジェクト
4年間の教養教育を、各自のゴールに向かって志を立てるプロジェクトととらえ、そのための自己発見と動機付けを行う科目です。講義講義と、28名程度でのグループワークを交互に行います。グループワークでは、自ら考え、問題を発見し、他者に表現することを通して、コミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを高めます。

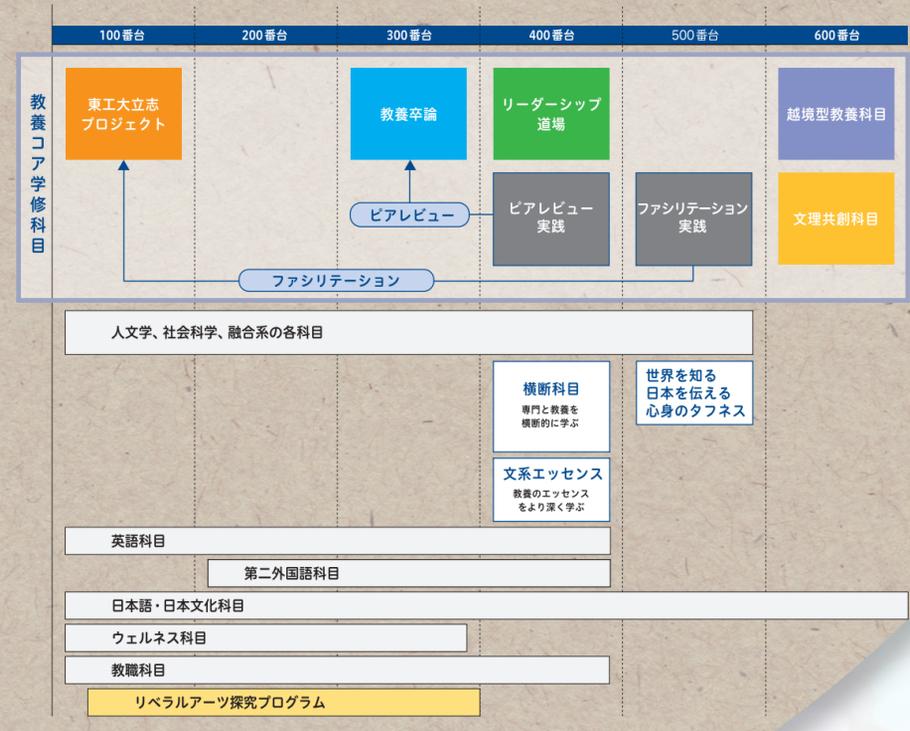
教養卒論
新しい教養教育ではひとりひとりが自分の目的にあった「学びのストーリー」を描くことが大切。これまでの教養教育で何を学んだのか、それは自分の志にどう生きてくるのかを振り返りつつ、自分の専門分野やこれまで学修してきた教養、様々な経験を題材に、主題を自ら設定し探究し、その結果を5,000～10,000文字の論文にします。受講生同士のピアレビューを通じて執筆を進め、修士課程の学生がそれをサポートします。

リーダーシップ道場
仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力を身に付けます。この科目で身につけた能力は、「教養卒論」の執筆をピアレビューアとしてサポートする科目「ピアレビュー実践」、「東工大立志プロジェクト」のグループワークにファシリテーターとして参加する「ファシリテーション実践」など、学士課程学生を指導するなかでさらに高めることができます。

越境型教養科目
自らの専門分野に限定されることなく、先端的・学際的な研究動向に目を向け、異分野の研究者と協力して、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造していきます。多様なバックグラウンドを持つメンバーが、英語で少人数グループワーク・発表会などを共に行う中でコミュニケーションの力を養い、また、研究者倫理・行動規範を身につけていきます。

文理共創科目
毎回、各分野の第一線で活躍するゲストを招き、研究会方式で実施される授業です。授業では、ゲストによる研究発表とディスカッションのほか、受講生によるグループワークを行います。研究会を通じて新領域の開拓を模索しつつ、また発展可能性のあるものについては研究プロジェクトへと発展させることで、コンバージェンス・サイエンスの新たな展開と可能性を受講生とともに模索します。

教養科目の大まかな流れ



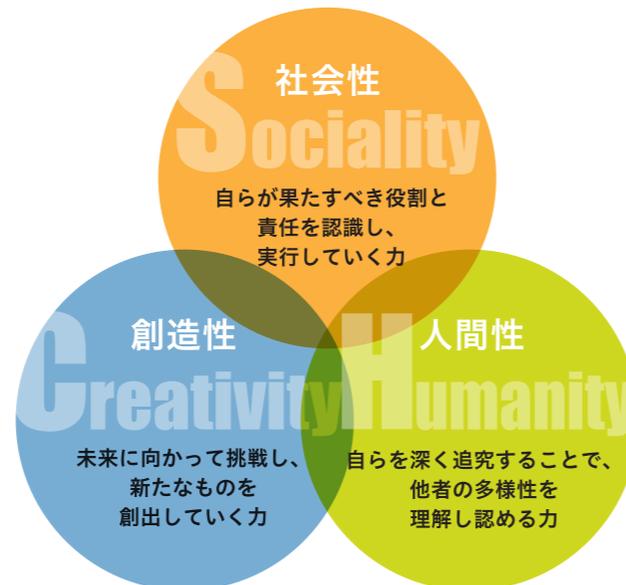
※この大きな円は、おもに教養コア学修科目で活用されている対話促進ツール「えんたくん」をイメージしています（左から2枚目の写真参照）

教養教育 Liberal Arts Education

理工系の専門知を社会へとつなぐ、幅広い教養を身につける

東工大では、入学1年目から博士後期課程まで、教養教育と専門教育の両方を途切れなく連動させ、その両方を織り交ぜて学び続ける「くさび型教育」を行っています。確かな専門性のベースとなる、高い見識、倫理観、自由な発想を育て、専門知識を社会につなげていく実践力を身につけていきます。それらを通して、人間性、社会性、創造性にあふれた人間の育成を目指します。

「志」ある東工大生の育成



学内外の組織との連携

文理共創に向けて、人文社会系の専門知を多様な領域に開く

人文社会系を中心に多様な分野で活躍する教員が、学内外の組織と連携して、教育、研究、社会貢献につながるプロジェクトに携わっています。



リーダーシップ教育院 (ToTAL) は、修士課程・博士後期課程を一貫する教育体系のもと、専攻分野や文化的背景の異なる学生同士が切磋琢磨することで、文理融合など異分野間の一体的教育を実現し、国際社会を牽引できるリーダーシップ・人間力を涵養します。

DLab

Laboratory for DEsign of
Social Innovation in Global Networks

未来社会DESIGN機構 (DLab) は、「人々が望む未来社会とは何か」を、社会の一員として考え、デザインすることを目的として設置されました。予測可能な未来ではなく、ありたい未来を、企業や公的機関など学外の多様な人々と共に考える取組を行っています。



FUTURE OF
HUMANITY
RESEARCH CENTER

未来の人類研究センター
東京工業大学 科学技術創成研究院 × リベラルアーツ研究教育院

未来の人類研究センターは、科学技術創成研究院のなかに設置された、人文社会系の研究組織です。学内の理工系の研究者や国内外の多様な分野の専門家とも連携しながら、人類の未来について、その来るべき変化や守るべき価値について考え、発信しています。



QRコード左から、リーダーシップ教育院
未来社会DESIGN機構、未来の人類研究センター